

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等社会科指導法			17665	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 博	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

- 1.「小学校学習指導要領 社会」の目指す理念や目標を理解することができる。
- 2.「小学校学習指導要領 社会」の変遷と今求められている社会科学力について、理 解することができる。
- 3.具体的な資料を用いた学習指導案を作成し、模擬授業を展開することができる。
- 4.社会の出来事に関心をもつことができる。
- 5.このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自立）とI（知性）を養う。

授業の概要

「小学校学習指導要領 社会」の変遷を概観し、新しい「小学校学習指導要領 社会」に基づき、教育内容と指導法を考察し、教材研究の方法や学習指導法、評価方法の習得を目指す。グループワークとして、事例研究や模擬授業、教材研究の発表の場を設定する。さらに、学習者の視点に立った実践的な学びを展開することで、教師としての授業力や実践両区を高める。

授業の方法

講義とグループワーク、模擬授業を中心に進める。

準備学修

WEBで参照すること

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

規則に従う

テキスト

文部科学省 小学校学習指導要領解説社会編 日本文教出版

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲をもって授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等算数科指導法			17669	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校教員（特に専門的に研究する）（神戸市算数研究会部長）			

授業の到達目標

算数科の教育内容と目標、及び指導法を習得する。子供が主体的・対話的で深い学びを進めるための授業づくりの工夫、留意点を教材研究、模擬授業を通して身に着ける。KAISEIパーソナリティのI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

算数科の目標、内容、系統性、各領域の特徴を学ぶ。子供のつまずきやすい教材を取り上げ、具体的な指導法を現場での実践成果と絡めながらプレゼン、討議する。学校現場での45分授業の構成、指導案の書き方を学び、模擬授業も行う。

授業計画

- 1.オリエンテーション ・ 算数科の目標(その趣旨及び要点)
- 2.算数科の内容と構成(領域と概観)
- 3.授業45分間の構成上の留意点
- 4.学習指導案(1)内容と書き方
- 5.学習指導案(2)指導案を書く
- 6.第1学年の目標及び内容
- 7.第2学年の目標及び内容
- 8.第3学年の目標及び内容
- 9.第4学年の目標及び内容
- 10.第5学年の目標及び内容
- 11.第6学年の目標及び内容
- 12.低学年 模擬授業とふりかえり
- 13.中学年 模擬授業とふりかえり
- 14.高学年 模擬授業とふりかえり
- 15.まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義と指導法についてのディスカッション、さらに模擬授業、事後の討議などの活動を大切にしていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

- ①課題 レポートの提出、学習指導案の提出、模擬授業を求め、講義の中でフィードバックを行う。模擬授業の振り返りにおいて、担当教員によるフィードバックを行う。
- ②評価方法 平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席1回につき4点減点する。

テキスト

「小学校学習指導要領解説 算数編」 東洋館出版（H29.6）

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲を持って、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等理科指導法			17673	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 博	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

小学校理科の教育目標と指導方法を修得すること。また、自然科学の知識を習得し、指導計画の作成や学習指導のあり方について実践を通して学び、理科の授業作りの基礎を培うことを目的とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自立）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

小学校理科学習指導要領の教科目標および学年目標や指導のあり方を把握する。
生物・物質・地球を中心に具体的な内容を取り上げ、指導力、応用力を養う。
指導案作成や模擬授業を通して、実践力を育成していく。

授業の方法

自然科学について興味関心がもてるよう具体的な事例を多く取り上げ、自作の資料やデジタル教材を使って講義をしていく。さらに、自分の考えを発表したりしながらディスカッションを深めていく。

準備学修

WEBで参照すること

課題・評価方法

平常点50％定期試験50％

欠席について

規則に従う

テキスト

文部科学省 小学校学習指導要領解説理科編（東洋館出版社）

参考図書

必要に応じて紹介する。

留意事項

理科学習が楽しいと感じられるよう、具体事例を挙げながら授業を進める。
出席と学習態度を重視する。
日頃から自然科学に関する報道等に関心をもつこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等生活科指導法			17677	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
東内 則子	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

- 生活科誕生の背景や経緯について理解する。
- 生活科の目標を知り、他教科と違う特質について理解する。
- 学習展開の基礎となる内容構成やそれぞれの内容の持つ役割について理解する。
- 内容の組み合わせによる有効な単元活動や指導計画を探る。
- 各内容を通して他教科や道徳との関連的な指導方法を理解する。

このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

低学年の子どもにとって極めて重要な役割を果たす生活科。その、誕生の経緯や特質を理解するとともに学習を展開するうえでの基礎となる内容構成や指導計画の工夫について理解を深める。

授業計画

- オリエンテーション 「私が学んだ生活科」レポート
- 各自の生活科へのイメージの違いと学びの格差
- 生活科誕生の背景・生活科とはどんな教科か
- 生活科の目標（生活科の抱える課題と新指導要領のねらい）
- 生活科の内容（内容構成と階層性）
- 生活科の内容1 「学校と生活」
- 内容2 「家庭と生活」内容3「地域と生活」
- 内容4 「公共物や公共施設の利用」道徳との関連を考える
- 内容5 「季節の変化と生活」
- 内容の関連付けの意義を知り年間計画を考える
- 内容6 「自然や物を使った遊び」
- 内容7 「動植物の飼育・栽培」内容8「生活や出来事の交流」
- 内容9 「自分の成長」「生活科の評価方法」
- 学習指導案づくり
- 模擬授業
- テスト

授業の方法

テキストによる講義を行うとともに、ワークショップやディスカッションを織りまぜながら理解を深める。
授業の初めは、身近な植物の観察「知っておきたい身近な植物」を行う。

行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は2点減点し、遅刻は1点減点とする。

テキスト

文部科学省「小学校学習指導要領解説 生活編」